

## 令和5年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原中学校	校長	九十九 邦守	生徒指導主事	村上 務
取組事例名	『竹中タイム』				

## 1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
教師というペースメーカーがいなくても、自分でPDCAサイクルを回しながら、少しずつ自分の目指す姿に向かって近づいていく課題対応能力を身につけさせるため。	PDCAサイクルを自ら回し、「課題対応能力」を高めることで、小さな成功体験を積み重ね、自己肯定感が高まる生徒の育成。



## 2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
<p>○年間を通して毎週金曜日の帰り学活後 10 分間で行う。</p> <p>1、4月14日(金)にオリエンテーションを行い、意義や年間計画を伝える。</p> <p>2、4月21日(金)から、5月に行われる体育祭に向けて次週の取組を決める。</p> <p>3、翌週は、その週の振り返りをし、次週の取組を決める。</p> <p>4、体育祭が終わった時に、まとめの振り返りを行う。</p> <p>※このような流れで、年間約12テーマ行い、自らPDCAサイクルを回す。</p> <p>他のテーマ例：定期テストに向けて、文化祭に向けて、キャリアスタートウィークに向けてなど、学校全体として取り組むこともあれば、学年ごとに行事などを利用して行うこともある。</p>	<p>生徒にめあてをもたせるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初のテーマ発表の時に、今回のテーマの意義について説明をきちんとしていく。</li> <li>・書いた物をキャリアノートやファイルにファイリングして、過去を振り返りながら自分の成長を実感させる。</li> </ul> <p>生徒の意欲を高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹中タイムだけでPDCAサイクルを回すのではなく、教科の学習・委員会活動、様々な学校行事等でもPDCAサイクルを意識させ、日頃から習慣づける。</li> </ul> <p>生徒の頑張りを認め、価値付けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の記入したものに直接アドバイスをするなど、生徒がより良い方法を見つけるために協力をした。</li> <li>・育成を目指す資質能力を褒めポイントととらえ、生徒が、PDCAサイクルを回している場面を見つけたら、積極的に評価していくようにした。</li> </ul>



## 3 成果と課題

<p>・今年度11月の生徒アンケートでは、「PDCAサイクルを回すことで自分は成長している」と答えた生徒は、92.0%となり、昨年度7月と比較すると4.5%増加している。また、自分の良さが理解できている生徒の割合が7%増えるなど、着実に生徒の成長に繋がっているという結果となった。しかし、PDCAサイクルのA(改善)まで、出来ていると答えた生徒の割合は変化がないので、今後も最終目標に到達できる生徒を増やすように、工夫して取り組むことが課題となる。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------